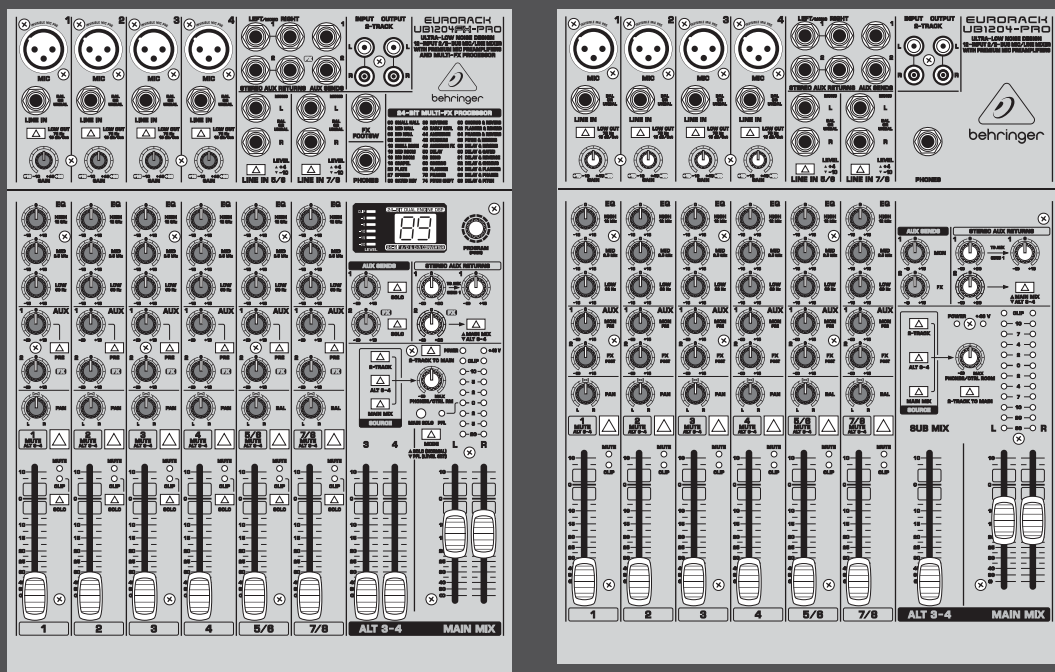




クイックスタートガイド (behringer.com にてマニュアルをチェック)



EURORACK

UB1204FX-PRO

Ultra-Low Noise Design 12-Input 2/2-Bus Mixer with Premium Mic Preamplifiers and Multi-FX Processor

UB1204-PRO

Ultra-Low Noise Design 12-Input 2/2-Bus Mic/Line Mixer with Premium Mic Preamplifiers

JP

JP

安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのも

のです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用している運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたできません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

ベックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

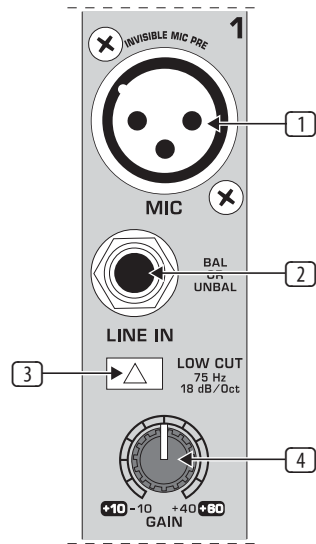
Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146,
Road Town, Tortola, British Virgin Islands

限定保証

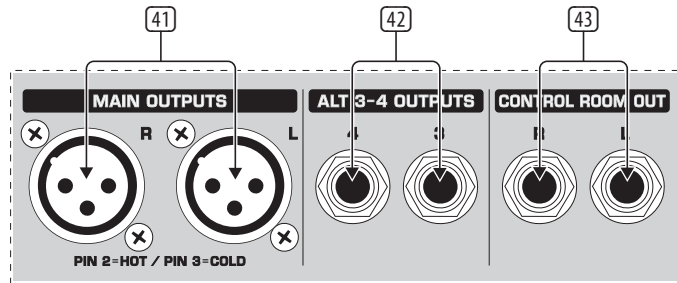
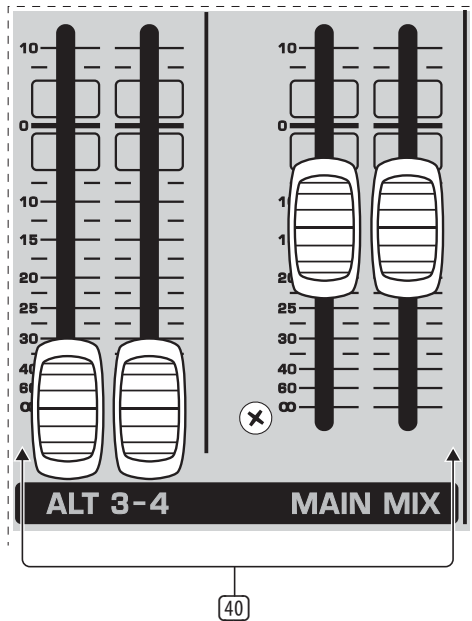
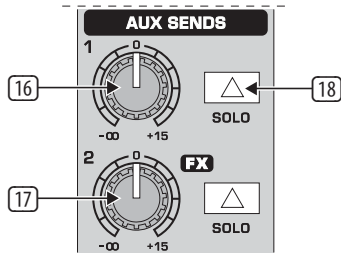
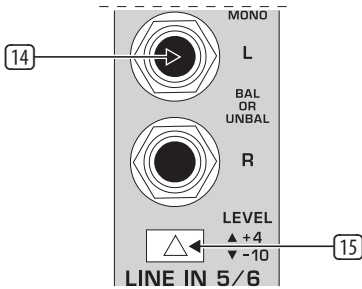
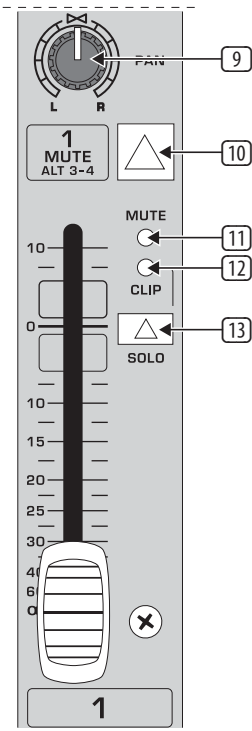
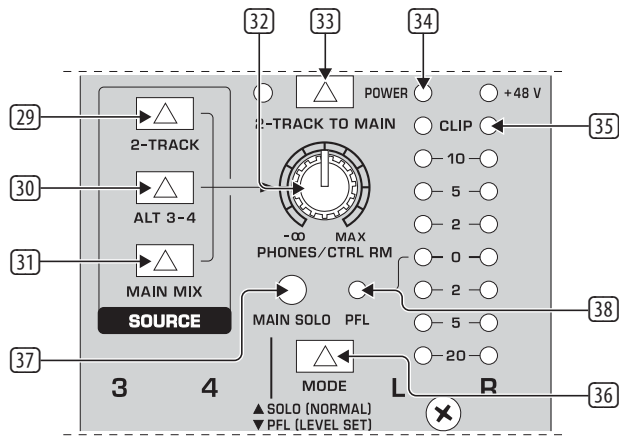
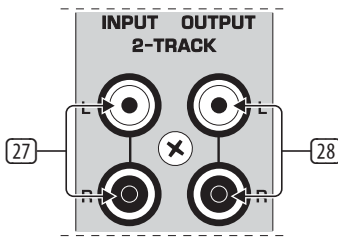
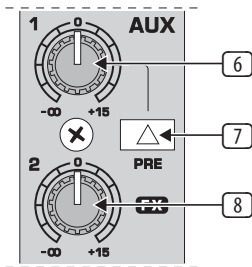
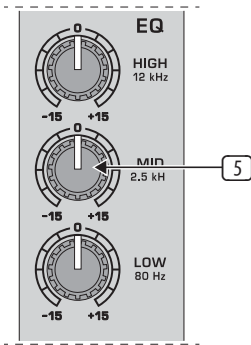
適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

JP

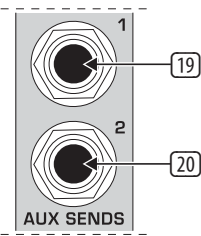
EURORACK UB1204FX-PRO/UB1204-PRO コントロール



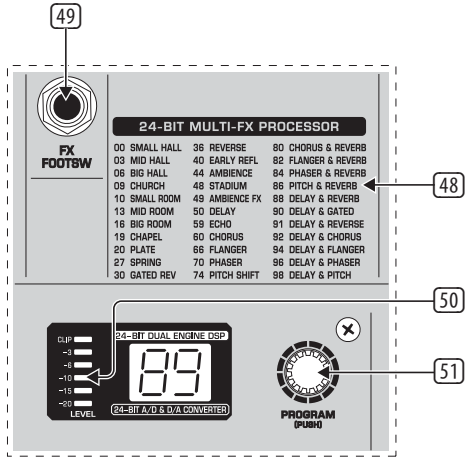
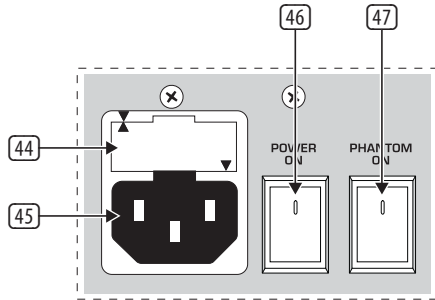
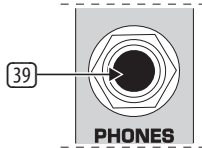
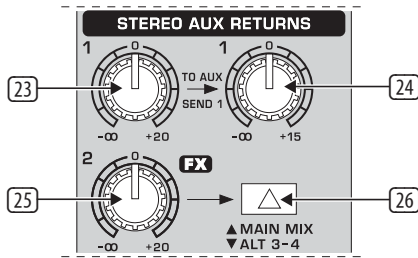
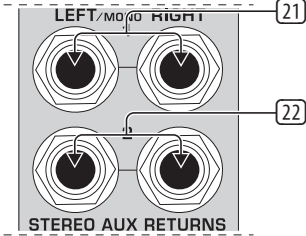
Connectors and controls of mic/line inputs



Main mix outputs, Alt 3-4 outputs and control room outputs



Aux send connectors



EURORACK UB1204FX-PRO/UB1204-PRO コントロール

コントロール

- ① **MIC** – 各モノラル入力チャンネルには、XLR ジャックによるバランス型マイク入力端子が装備されており、コンデンサーマイク用 +48V ファントム電源の供給もボタンを押すだけでおこなえる仕組みとなっています。
- ② **LINE IN** – 各モノラル入力にはさらに ¼ インチ フォンジャックによるバランス型ライン入力端子が装備されています。これらの入力端子にはアンバランス型プラグ (モノラルジャック) を接続することも可能です。
- ③ **LOW CUT** – さらに本機の各モノラルチャンネルには傾斜の強い LOW CUT フィルターが装備されており、好ましくない低域周波数信号を削除することができます (18 dB / オクターブ, 75 Hz 時 -3 dB)。
- ④ **GAIN** – GAIN ポットは入力信号増幅の設定に使用します。信号源をいずれかの入力端子に接続したり、そこから切り離したりする際には、必ずこのコントローラーを左端まで回転させてください。
- ⑤ **イコライザー** – 全モノラル入力チャンネルには 3 バンド・サウンドコントローラーが装備されています。各バンドごとに最高 15 dB の高低調整が可能です。各バンドを真中に設定するとイコライザーはニュートラルとなります。
- ⑥ **AUX 1 (MON)** – UB1204FX-PRO の Aux センド 1 はプリフェーダーとして設定することも可能であり、モニターの使用に特に適しています。UB1204-PRO では最初の Aux センドが MON として表示されており、これは固定プリフェーダーとして設定されています。
- ⑦ **PRE** – PRE スイッチを押すことにより、フェーダーの前での Aux センド 1 の取り出しを設定できます。
- ⑧ **AUX 2 (FX)** – FX で表示されている 2 番目の Aux センド 経路は、エフェクト機器のコントロール用として用意されており、このためポストフェーダー設定となっています。UB1204FX-PRO の FX センドは、搭載エフェクトプロセッサへ直接つながっています。
- ⑨ **PAN** – PAN コントローラーにより、ステレオ領域内におけるチャンネル信号のポジションを設定します。コンスタント・パワー特性を有するこの機構では、ステレオパノラマ内のポジションに関係なくレベル量を一定に保つことが可能です。

- ⑩ **MUTE/ALT 3-4** – MUTE/ALT 3-4 スイッチにより、メインミックスバスから Alt 3-4 バスへとチャンネルを切り替えることができます。これにより、メインミックス用のチャンネル音量が切られます。
- ⑪ **MUTE-LED** – MUTE-LED 表示により、該当チャンネルがサブミックス (Alt 3-4 バス) に切り替わっていることを表示します。
- ⑫ **CLIP-LED** – チャンネル信号が高くなりすぎると、CLIP-LED 表示が点灯します。この場合には、GAIN コントローラーを使用して前置増幅を抑え、必要に応じチャンネル EQ の設定を確認して下さい。
- ⑬ **SOLO** – SOLO スイッチ (UB1204FX-PRO のみ) により、チャンネル信号をソロ・バス (Solo In Place) および PFL バス (Pre Fader Listen) へと導きます。これにより、メインアウト出力信号が影響を受けることなくチャンネル信号をモニタリングすることが可能となります。この際、モニタリングする各信号はパノラマコントローラーとチャンネルフェーダーの前 (PFL、モノラル) もしくは後 (ソロ、ステレオ) で取り出されます。
- ⑭ **チャンネル入力** – 各ステレオチャンネルには、左右チャンネルの各フォンジャックにバランス型ラインレベル入力が 2 つずつ装備されています。チャンネルをモノラル使用する際には、「L」ジャックのみを使います。ステレオチャンネルは典型的なラインレベル信号用に構成されています。
- ⑮ **LEVEL** – 各ステレオ入力には、レベル調整用に LEVEL スイッチが装備されており、+4 dBu ~ -10 dBV 間の切替が可能です。-10 dBV (ホームレコーディングレベル) に設定した場合、+4 dBu (スタジオレベル) の場合に比べて入力感度が高くなります。
- ⑯ **AUX SEND 1 (MON)** – AUX SEND コントローラー MON は Aux センド 1 用のマスターポテンシオメーターとして機能し、これにより総体信号のレベルを調整できます。UB1204FX-PRO の場合、MON コントローラーを AUX SEND 1 と呼んでいます。
- ⑰ **AUX SEND 2 (FX)** – 同様に FX ポテンシオメーター (AUX SEND 2) により、Aux センド 2 におけるレベル全体の調整をおこないます。

- ⑱ **SOLO** – SOLO スイッチ (UB1204FX-PRO のみ) により、Aux 経路へ送られたオーディオ信号を CONTROL ROOM/PHONES 出力を通じて個別にモニタリングすることができ、さらにこの信号をレベル表示で確認することができます。
- ⑲ **AUX SEND 1** – Aux センド 1 プリフェーダーをご使用の際には、AUX SEND 1 ジャックをモニターパワーアンプもしくは起動中のモニタースピーカースステムの入力部分に接続してください。Aux センド 1 ポストフェーダーをご使用の際には、Aux センド 2 の欄に記載の要領でおこなってください。
- ⑳ **AUX SEND 2** – 各チャンネルから FX コントローラーを通して取り出された信号が AUX SEND 2 ジャックから導かれますので、ここにエフェクト機器の入力を接続し、FX バスの総体信号にエフェクトをかけることができます。エフェクトミックスを作成後、加工済みの信号をエフェクト機器の出力から STEREO AUX RETURN 2 ジャックへ戻すことができます。
- ㉑ **STEREO AUX RETURN 1** – ポストフェーダー Aux 経路により作成したエフェクトミックスのリターン経路として STEREO AUX RETURN 1 ジャックが装備されていますので、ここに外部エフェクト機器の出力信号を接続してください。左側のジャックのみに接続がおこなわれている場合には、Aux リターン は自動的にモノラル出力となります。
- ㉒ **STEREO AUX RETURN 2** – FX コントローラーで作成したエフェクトミックスのリターンプレイ経路として STEREO AUX RETURN 2 ジャックが装備されています。これらのジャックが追加入力用として既に使用されている場合、別のチャンネルを通してエフェクト信号をミキサー内に再度送ることが必要です。この際、チャンネル EQ により、エフェクト信号の周波数帯域を変更することが可能です。
- ㉓ **STEREO AUX RETURN 1** – STEREO AUX RETURN 1 コントローラーはステレオポットです。このコントローラーにより、メインミックス内に送られた信号のレベルを設定します。
- ㉔ **STEREO AUX RETURN MON** – 特殊機能を有する STEREO AUX RETURN MON コントローラーにより、モニターミックスとミックスの併用が可能です。

- ㉕ **STEREO AUX RETURN 2 (FX)** – STEREO AUX RETURN 2 コントローラーにより、AUX RETURN 2 ジャック内に送られる信号のレベルを調整します。さらにここからメインミックスへと送られます。
- ㉖ **MAIN MIX/ALT 3-4** – MAIN MIX/ALT 3-4 スイッチが、STEREO AUX RETURN 2 ジャックを通じて流れてきた信号をメインミックス (押していない状態) もしくはサブミックス (Alt 3-4 を押した状態) へと送ります。
- ㉗ **2-TRACK INPUT** – 2-TRACK INPUT ジャックは 2 トラックレコーダー (DAT レコーダー等) の接続に適しています。
- ㉘ **2-TRACK OUTPUT** – これらの接続端子は MAIN OUT と平行に配線されており、ステレオ総体をアンバランス出力することを可能としていますので、ここにレコーディング機器入力を接続してください。高精度 MAIN MIX フェーダーにより最終的なレベルを設定することができます。
- ㉙ **2-TRACK** – 2-TRACK スイッチがレベル表示、CONTROL ROOM OUT 出力および PHONES ジャックへと 2-TRACK IN ジャックの信号を送り、モニタリングスピーカーやヘッドフォンによるバックバンドのチェックがとても簡単になります。
- ㊀ **ALT 3-4** – ALT 3-4 スイッチにより、Alt 3-4 バスの信号をモニタリング用のバスに送ることが可能となります。
- ㊁ **MAIN MIX** – MAIN MIX スイッチにより、メインミックス信号を前述の出力およびレベル表示へと送ります。
- ㊂ **PHONES/CTRL RM** – このコントローラーを使用し、コントロールルーム出力レベルおよびヘッドフォン音量を設定します。
- ㊃ **2-TRACK TO MAIN** – 2-TRACK TO MAIN スイッチを押すと、メインミックス内の 2 トラック入力が起動し、バンド挿入用としての追加入力に使用することが可能となります。さらに MIDI 楽器およびさらに加工する必要のないその他の信号源を接続することも可能です。同時に、このスイッチによりメインミックス テープ出力間の接続を遮断します。
- ㊄ **POWER** – 青色の POWER LED 表示は機器の電源投入を示します。

- ㊅ **+48 V** – ファントム電源供給機能が起動されると、赤色の「+48 V」LED ランプが点灯します。ファントム電源供給機能はコンデンサーマイクを使用する際に必要となり、本機後部にあるスイッチにより起動されます。
- ㊆ **MODE (UB1204FX-PRO の場合)** – MODE スイッチにより、各チャンネルの SOLO スイッチの機能を PFL (Pre Fader Listen) とするかソロ (Solo In Place) とするかを設定します。
- ㊇ **MAIN SOLO (UB1204FX-PRO のみ)** – チャンネル スイッチもしくは Aux センド・ソロ・スイッチを押すと、MAIN SOLO LED ランプが点灯します。この際、MODE スイッチは「Solo」にセットしておいてください。
- ㊈ **PFL (UB1204FX-PRO のみ)** – PFL LED 表示はピークメーターが PFL モードにセットされていることを示します。
- ㊉ **PHONES ジャック** – この ¼ インチ ステレオフォンジャックにはヘッドフォンを接続することができます。PHONES 接続端子へ送られる信号はコントロールルーム出力により取り出されます。
- ㊊ **Alt 3-4 およびメインミックスフェーダー** – 高精度・高品質フェーダーが Alt 3-4 サブグループおよびメインミックスの出力レベルをコントロールします。
- ㊋ **MAIN OUTPUTS** – 各 MAIN 出力には、+4 dBu を規準とするバランス型 XLR ジャックが装備されており、ここから MAIN MIX 信号を導きます。
- ㊌ **ALT 3-4 OUTPUTS** – 各 ALT 3-4 出力はアンバランス型です。これらの出力が MUTE スイッチにより該当グループへ送られたチャンネルの総体信号を導きます。これらの出力を使ってもう 1 台のミキサーなどへサブグループを送ったり、メイン出力に平行するレコーディング出力として使用することが可能となります。これにより、4 つのトラックを同時にレコーディングすることも可能となるのです。さらに、これらの 4 つの出力に Y ケーブルを使用し、お手持ちの 8 トラックレコーダーと結線すれば、2x4 トラックを使用することも可能となります (チャンネル 1 をトラック 1、トラック 2 へ等)。この場合、最初のレコーディングでトラック 1、3、5、7 を、二回目のレコーディングでトラック 2、4、6、8 を録音してください。

EURORACK UB1204FX-PRO/UB1204-PRO コントロール

コントロール

- 43

CONTROL ROOM OUTPUTS – 通常コントロールルーム出力は編集室内でモニター機器と接続され、ステレオ総体および (必要に応じ) ソロ信号を送ります。
- 44

ヒューズホルダー /

45

標準 IEC コネクター – 電源への接続には標準 IEC コネクターを使用します。このアダプターは必要安全基準を満たしています。この装置には適合する電源コードが付属しています。ヒューズ交換の際には必ず同じタイプのものを使用してください。
- 46

POWER スイッチ – POWER スイッチでミキサーの電源を投入します
- 47

PHANTOM スイッチ – PHANTOM スイッチにより、モノラルチャンネルの XLR ジャックへのファントム電源供給機能を起動させます。この機能はコンデンサーマイクを使用する際に必要となります。ファントム電源供給機能が起動されると、赤色の +48 V LED ランプが点灯します。通常はダイナミックマイク (バランス型) のご使用も可能です。不明点に関してはマイクの各製造元にお問い合わせください。
- 48

24-BIT 多重効果プロセッサー – ここに多重効果プロセッサーの全ての前もって作成したプログラムの概要を了解できます。
- 49

FX FOOTSW – エフェクトプロセッサーのオン・オフ切替用として、市販のフットスイッチをフットスイッチジャックへ接続してください。フットスイッチによりエフェクトプロセッサーの音量が切られている場合、ディスプレイ下部分のランプが点灯します。
- 50

LEVEL – エフェクトモジュールの LED レベル表示が常時充分なレベル高を表示するようにしてください。Clip-LED 表示がレベルピーク時にのみ点灯するように心がけてください。
- 51

PROGRAM – PROGRAM コントローラーを回転させ、エフェクトプリセットを選択します。ディスプレイ上にセットされたプリセット番号が点滅表示されます。ボタンを押すと選択中のプリセットが確定され、点滅が止まります。選択プリセットの確定にはフットスイッチの使用も可能です。

behringer.com にてマニュアルをチェック

技術仕様

UB1204FX-PRO		UB1204-PRO
モノラル入力		
マイク入力 IMP (インヴィジブル・マイク・プリアンプ)		
タイプ	XLR 電子バランス入力、別系統入力	
Mic E.I.N. (20 Hz - 20 kHz)		
@ 0 Ω 入力インピーダンス	-134 dB / 135.7 dB 出力スケール	
@ 50 Ω 入力インピーダンス	-131 dB / 133.3 dB 出力スケール	
@ 150 Ω 入力インピーダンス	-129 dB / 130.5 dB 出力スケール	
周波数帯域	<10 Hz から 150 kHz (-1 dB)、 <10 Hz から 200 kHz (-3 dB)	
増幅域	+10 から +60 dB	
最高入力レベル	+12 dBu @ +10 dB ゲイン	
インピーダンス	約 2.6 kΩ / バランス	
S/N 比	110 dB / 112 dB 出力スケール (0 dBu In @ +22 dB ゲイン)	
歪み率 (THD+N)	0.005% / 0.004% 出力スケール	
ライン入力		
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック電子バランス入力	
インピーダンス	約 20 kΩ バランス / 10 kΩ アンバランス	
増幅域	-10 から -40 dB	
最高入力レベル	30 dBu	
フェードアウト減衰 ¹ (クロストーク減衰)		
メインフェーダーが ^a	90 dB 閉じている場合	
チャンネル音量を	89.5 dB 切っている場合	
チャンネルフェーダーが ^a	89 dB 閉じている場合	
周波数帯域		
メイン出力へのマイク入力		
<10 Hz から 90 kHz	+0 dB / -1 dB	
<10 Hz から 160 kHz	+0 dB / -3 dB	
ステレオ入力		
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック電子バランス入力	
インピーダンス	約 20 kΩ	
最高入力レベル	+22 dBu	
EQ モノラルチャンネル		
Low	80 Hz / ±15 dB	
Mid	2.5 kHz / ±15 dB	
High	12 kHz / ±15 dB	
EQ ステレオチャンネル		
Low	80 Hz / ±15 dB	
Mid	2.5 kHz / ±15 dB	
High	12 kHz / ±15 dB	
Aux センド		
タイプ	6.3 mm モノラルジャック、アンバランス出力	
インピーダンス	約 120 Ω 最高出力レベル +22 dBu	

UB1204FX-PRO		UB1204-PRO	
ステレオ Aux リターン			
タイプ	6.3 mm ステレオフォン ジャック電子バランス入力		
インピーダンス	約 20 kΩ バランス / 10 kΩ アンバランス		
最高入力レベル	+22 dBu		
メイン出力			
タイプ	XLR 電子バランス出力		
インピーダンス	約 240 Ω バランス / 120 Ω アンバランス		
最高出力レベル	+28 dBu		
コントロールルーム出力			
タイプ	6.3 mm モノラルジャック、アンバランス出力		
インピーダンス	約 120 Ω		
最高出力レベル	+22 dBu		
ヘッドフォン出力			
タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック・アンバランス		
最高出力レベル	+19 dBu / 150 Ω (+25 dBm)		
DSP	Texas Instruments		
コンバーター	24 ビット Sigma-Delta、 64/128 倍オーバーサンプリング		
サンプリングレート	40 kHz		
メインミックス・システムデータ ²			
ノイズ			
メインミックス @ -∞、チャンネル フェーダー -∞	-105 dB / -108 dB 出力スケール		
メインミックス @ 0 dB、チャンネル フェーダー -∞	-95 dB / -97 dB 出力スケール		
メインミックス @ 0 dB、チャンネル フェーダー @ 0 dB	-82.5 dB / -85 dB 出力スケール		
電源供給			
供給電圧	100 から 240 V ~、50/60 Hz		
消費電力	40 W		
ヒューズ	100 - 240 V ~: T 1.6 A H		
電源アダプター	標準 IEC コネクター		
外形寸法および重量			
寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	約 97 x 247 x 334 mm	約 97 x 247 x 328 mm	
重量 (正味重量)	約 3.9 kg	約 3.7 kg	

- 計測条件:
- 0 dBu あたり 1 kHz rel.、20 Hz ~ 20 kHz、ライン入力、メイン出力、ゲイン @ ユニティー
 - 20 Hz ~ 20 kHz、メイン出力によるチャンネル 1~4 ゲイン @ ユニティー、サウンドコントロール ニュートラル、全チャンネル メインミックス設定、チャンネル 1/3 左端、チャンネル 2/4 右端レファレンス = +6 dBu

BEHRINGER 社は、最高品質水準の維持にむけた努力を常時おこなっています。必要とみなされた改良等は予告なくおこなわれますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違することがあります。

その他の重要な情報

JP

その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにいるときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



We Hear You